

### (3) 畑の仕事

#### ① やさいづくり

山都町でやさいづくりがさかんになったのは、昭和46年ごろからです。このころから日本では、米があまるようになり、米いがいの作物としてやさいが作られるようになりました。そのため、前に田だったところを畑にしてやさいを作っているところもあります。おもなやさいとして、アスパラガス、キュウリ、にらなどがあります。

おいしくて、よいやさいをつくるために肥料のやり方をくふうしたり、病気や害虫から守るために消毒をしたりしています。また、早く大きく育てて出荷するために、ビニルハウスもりようされています。



アスパラガスをとっているところ

おもなやさいづくりこよみ

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
きゅうり				たねまき	なえの手入れ	うえつけ	ついひ	消どく	収かく				
トマト				たねまき	なえの手入れ	うえつけ	てきか	ついひ	消どく	収かく	畑のせいり		
アスパラガス						収かく(ろじ)			収かく(ハウス)	土よせ	ついひ	収かく(夏・秋どり)	かりとり